



原市南小だより

特別号

TEL 048-722-2100

児童数:475名 学級数:20学級

令和7年度学校評価結果について

保護者の皆様におかれましては、ご多用の折、アンケートへのご協力をはじめ、様々な調査にご協力いただきましてありがとうございました。

学校評価は学校教育法に定められた取組であり、「小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。」とされています。

児童、保護者の皆様からのアンケートをもとに学校が自己評価を行い、今年度の取組の成果と今後の課題についてまとめましたのでご覧ください。

【令和7年度の成果】

- 学校教育目標「よく励む子 心さわやかな子 粘り強い子」の実現に向けて、目指す児童像と教師像を共有し、児童に寄り添い、温かい人間関係を築くとともに、自己肯定感を育て、一人一人に居場所がある学校をつくっている。教職員は、教育公務員としての自覚と責任をもち、当事者意識をもって事故防止に取り組んでいる。
- 学習においては、授業の課題の明示、課題解決や話合いの時間を確保、児童の言葉による振り返りを行っている。成長や努力を適切に評価し、それを生かすことで主体的な学習となるようにしている。
- 児童の主体の活動や係、当番活動、豊かな心を育てる教育活動、失敗を生かせる雰囲気作り等により、長所や頑張りを積極的に認め、居場所や安心を感じられるように学級運営を行っている。
- 体力向上と健康教育推進のため、昨年度よりも体を動かす楽しさを意識した体育授業が行えた。養護教諭、栄養士と連携した指導を行うことができた。
- 教職員が生活のきまり等のルールを共通理解し、組織的な対応ができています。生活アンケートや日常の観察、出席状況等から不安を抱える児童を見つけ、いじめ、不登校の防止に取り組むことができた。
- 危機管理マニュアル等が共通理解され、児童の安全な生活のために、高い意識をもって安全教育や安全点検に取り組むことができた。また、怪我が発生した際は速やかに情報共有し、対応することができた。
- 学校・家庭・地域連携を促進のため、授業公開や情報発信、協力依頼をより積極的に行うことができた。

【今後も継続して取り組むこと】

- 児童の疑問から課題設定をしたり、学び合い、教え合う協働学習を取り入れたりして、学ぶ喜びを味わえるようにする。一人一人が安心して思いや考えを伝えられる学級経営を行うことで、「粘り強い子」を育成する。
- ICT端末に関する教員研修を行い、時代の要請に合った効果的な活用が日常的に行えるようにする。デジタルドリルのログを生かし、家庭学習、習熟学習での活用を推進する。スキルやネットモラルを系統立てて学ぶ機会を設ける。
- 家庭学習は毎日継続して行えるように共通理解を図る。低学年は学校から課題を出し、中学年からは課題＋自分に必要な学習ができるようにする。学ぶ必要感、日頃の授業の中で主体的に学ぶ経験を重ねることで育成する。
- 清掃は、集中して時間いっぱい取り組めるように時間の使い方や掃除の手順や方法を継続して指導する。また、ごみを拾う、汚さないように大切に使う等、場を美しく保つ意識を高める。清掃や整理整頓は、学校と家庭、双方で取り組み、身に付けることができるように工夫する。
- 体育の授業を通して運動に親しみ、休み時間等に体を動かすことができるように、体育部を中心に指導方針を示し、主運動につながる準備運動や、個に応じたためあての設定、手応えを感じられる時間と場の設定の工夫を行う。
- 生徒指導について、自分も周りも気持ちよく過ごすためにはどんな言動が大切なのか、道徳、人権教育、特別活動等の授業や学校生活全般を通じて自分事として考えさせる。また、発達段階に応じて、学校だけでなく、家庭や地域でも自分で正しい判断・行動ができるように、社会を見据えた指導をする。

【アンケートから】

- あいさつは、「いつでも、どこでも、だれでも、じぶんから」をキーワードに指導しています。校内だけでなく、家庭や地域でも積極的に声をかけてください。大人にとってもあいさつは大切なものです。お互いに気持ちのよいあいさつを心がけ、子供たちにあいさつの大切さを伝えていきましょう。
- 子供が頑張れる機会をつくることは大切です。行事だけではなく、学習や運動、清掃等の当番活動や係活動等、様々な場面で頑張りを認め、学級、家庭とで共有していきます。
- 体育の授業では、様々な動きの経験や体を動かす楽しさの実感を大切に指導していきます。知識や技能だけでなく、ルールや場、練習や作戦の工夫、学習への取り組み方や友達との関わり方等も主体的に学べるよう指導します。また、授業の目標と各自の実態にあった目標を立て授業できるようにしていきます。
- 家庭学習は、毎日の習慣付けが大切です。1年生から学校からも課題を出しています。ご家庭でも取組の確認と声掛けをお願いします。中学年以降は必要な課題とともに、各自が必要な学習を考えて取り組んでいます。分量や内容で不明な点や心配な点については、担任までご相談ください。
- 感染症流行により学級閉鎖等になる際には、感染症予防の観点から全学年に情報提供を行います。

令和7年度原市南小学校学校評価

4 そう思う (90%以上) 3 大体そう思う (70~90%) 2 あまり思わない (50~70%) 1 思わない (50%以下)

大項目	教職員		児童		保護者		学校関係者評価 (大項目ごとに 4段階評価)
	項目	得点率 (%)	項目	得点率 (%)	項目	得点率 (%)	
児童像	1 本校では「よく励む子」自ら考え、様々な人と協働しながら主体的に課題を解決していく児童が育っている。	100	先生や友達の話をよく聞き、自分の考えも伝えていきます。	86.1	わが子は、正しい行いを心がけ、いろいろな考えを認め、友達と協力して過ごしている。	93.0	3.5
	2 本校では「心さわやかな子」多様な考えを認め、自己を律することができ、他人を思いやることのできる児童が育っている。	100	正しい行いを心がけ、いろいろな考えを認め、友達と協力しています。	91.7			
	3 本校では「粘り強い子」心身ともにたくましく、課題にねばり強く取り組み児童が育っている。	88.0	苦手なことでもあきらめず、目標をもって学習や運動に最後まで取り組んでいます。	87.9	わが子は、苦手なことでもあきらめず、自分の目標をもって、学習や生活をしています。	79.0	
教師像	4 本校では、情熱と使命感をもって学び続け、創造性豊かに取り組む教師の具現化が図られている。	100	先生たちの授業は、わかりやすいです。	94.3	学校は、わかりやすい授業を行っている。	93.0	3.8
	5 本校では、児童に寄り添い、児童の努力や成果を褒め、認め、強みを生かせる教師の具現化が図られている。	100	先生たちは、私や友達のやる気やがんばりやよさを認めてくれます。	92.6	学校は、児童のやる気やがんばりを認める指導をしている。	91.0	
	6 本校では、児童とともに汗を流し、共に考え、共に学ぶ人間性豊かな教師の具現化が図られている。	100	体育の授業で、たくさん体を動かして、運動を楽しんでいます。体力アップタイムや休み時間に、運動しています。	88.3 75.8	学校は、体育の授業や体力アップタイムを通して、体を動かす楽しさを味わわせながら、体力向上を図っている。わが子は、積極的に体を動かして、運動したり遊んだりしている。	89.0 75.0	
教職員組織の活性化と	7 令和7年度の学校経営方針に基づき、主体的に行動するとともに、他の教職員と協力して指導、業務に当たっている。	100					3.8
	8 校務分掌において、組織の一員として率先して活動し、計画的、創造的に学校運営に参画している。	100					
	9 教育公務員としての自覚ある服装や言動をしている。	100					
	10 倫理確立委員会等を通して、当事者意識をもって事故防止対策（教職員事故、不祥事根絶）に取り組んでいる。	100					
	11 働き方改革を意識して業務の見直しや効率化を図り、自身の心身の健康管理に取り組んでいる。	100					
確かな学力の定着と学力向上	12 児童の意欲を高め、主体的な学習となるよう、教職員自己評価シートを日常的に活用し、指導方法の工夫、改善を行っている。または、適切に業務を遂行するために、自己評価シートを日常的に活用し、業務の工夫、改善を行っている。	88.0					3.7
	13 学校課題研究に積極的に参画し、原市中学校区での小中一貫教育について情報を収集し、9年間の学習面や生活面の系統性を考えて授業を行っている。	88.0					
	14 日々の授業改善 各時間あめや課題を明示し、児童に学習の見通しをもたせるとともに、児童自身の言葉で振り返りを行わせている。	100	先生たちの授業は、わかりやすいです。	94.3	学校は、わかりやすい授業を行っている。	93.0	
	15 日々の授業改善 課題解決や話し合い（自力解決）の時間を確保するとともに、課題解決のために個別（グループ）への支援や声掛けを行っている。	100					
	16 日々の授業改善 授業の開始、終了を守り、導入・展開・まとめ・振り返りのバランスを考えた授業を行っている。	100					
	17 日々の授業改善 1時間の学習の流れがわかる板書を作成するとともに、児童の実態に応じて学習の記録が残るように指導（ノート、ICTの活用等）している。	100					
	18 日々の授業改善 一人一台端末を活用し、課題解決や発表、習熟に生かしている。（1日2時間以上、月1回以上の家庭学習での活用）	83.3	授業や家庭学習の中でICT端末を活用しています。	86.4	学校は、ICT端末を積極的に活用した授業を行っている。	88.0	
	19 個々の実態に応じて、児童の成長や努力を適切に評価し、指導に生かしている。	100	先生たちは、私や友達のやる気やがんばりやよさを認めてくれます。	92.6	学校は、児童のやる気やがんばりを認める指導をしている。	91.0	
	20 学習規律を定着させるために日常的・継続的指導している。（礼、返事、発言、聞き方等）	100	先生たちは、だめなことはだめと言ってくれます。	97.1	学校は、学習規律を定着させるために日常的・継続的に指導している。	95.0	
	21 教室や特別教室の環境（整頓・清掃・掲示）を整備し、集中して学習しやすく、選いのある環境をつくっている。	100	清掃の時間は、集中して一生懸命、取り組んでいる。	93.2	わが子は、部屋の整理、清掃等の家事分担に取り組んでいる。	50.0	
豊かな心を育む教育への取組	22 学年や児童の実態に配慮した上で、「家庭学習」の習慣化を図るための指導を継続して行っている。	95.8	家庭学習に毎日取り組んでいます。	85.0	わが子は、家庭学習に毎日取り組んでいる。	79.0	3.3
	23 児童が居場所や安心感を感じ、のびのびと生活できる学級経営や授業を行っている。（児童主体の活動・係・当番活動等の充実、肯定的な言葉掛け、失敗を生かせる雰囲気づくり）	100	学校は楽しいです。学校には、自分の居場所があり、安心して生活することができます。	95.1 86.7	わが子は、学校生活を楽しくしている。学校は、児童が居場所や安心感を感じ、のびのびと生活できる場所になっている。	95.0 93.0	
	24 道徳的価値を意識して計画的に道徳の授業や道徳教育を行い、児童が様々な角度から自分自身を考察し、自分なりに考えを深められるようにしている。	95.7					
	25 児童・保護者が相談しやすい雰囲気をつくるとともに、思いを受け止め、誠実に対応をしている。	100	先生たちは、困ったときに助けてくれたり、励ましてくれたりしています。	93.1	学校は、児童が困っているとき、助けてくれたり、励ましてくれたりしている。学校は、困ったときに相談しやすい。	90.0 79.0	
	26 人権課題を意識して日常の指導を行い、計画的に人権感覚育成プログラムを取り入れた授業を行っている。	88.0					
	27 豊かな心を育てる教育活動の意義を伝え、積極的な参加を促している。（あいさつ、読み聞かせ、音楽朝会、イングリッシュカフェ等）	100	学校では、いろいろな人との関わりや体験ができています。	93.2	学校は、いろいろな人との関わりや体験ができる行事や活動の機会を作っている。	94.0	
	28 学級や児童の様子や担任の思いを保護者に伝える学級通信を継続的に発行している。（月1回以上）	75.0					
	29 体育の授業において、体を動かす楽しさを味わわせながら体力向上を図っている。	91.7	体育の授業で、たくさん体を動かして、運動を楽しんでいます。	88.3	学校は、体育の授業や体力アップタイムを通して、体を動かす楽しさを味わわせながら、体力向上を図っている。	89.0	
	30 体育部を中心として、体力向上の推進（体力アップタイム等）に積極的に取り組んでいる。	96.0	体力アップタイムや休み時間に、運動しています。	75.8	わが子は、積極的に体を動かして、運動したり遊んだりしている。	75.0	
	31 養護教諭と連携し、計画的に保健指導を行っている。	100	「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、規則正しく生活し、健康に気を付けています。	83.3	わが子は、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、規則正しく生活し、健康に気を付けています。	80.0	
特別支援・教育の充実	32 栄養士と連携し、給食を活用した計画的な食育指導を行っている。	84.0					3.3
	33 原市南小のよきまきり、生徒指導マニュアル、いじめの防止基本方針等を理解の下、生徒指導等委員会が中心となり、共通の指導を組織的に継続して行っている。	100	先生たちは、「だめなことはだめ」と言ってくれます。	97.1	学校は、児童に「だめなことはだめ」と指導している。	93.0	
	34 継続した指導や声掛けを行い、重点目標「あいさつを「いつでも」「どこでも」「だれとでも」できるようにしよう」を身に付けさせている。	92.0	「いつでも」「どこでも」「だれとでも」、進んであいさつしています。	80.4	わが子は、「いつでも」「どこでも」「だれとでも」進んであいさつをしている。	55.0	
	35 継続した指導や声掛けを行い、重点目標「廊下、階段は右側を静かに歩こう」を身に付けさせている。	92.0	廊下、階段は右側を静かに歩いています。	77.8			
	36 継続した指導や声掛けを行い、重点目標「黙って掃除をしっかりと行おう」を身に付けさせている。	96.0	清掃の時間は、集中して一生懸命、取り組んでいます。	88.8	わが子は、部屋の整理、清掃等の家事分担に取り組んでいる。	50.0	
	37 継続した指導や声掛けを行い、重点目標「言葉遣いに気を付けてよう」を身に付けさせている。	100	言葉遣いに気を付けて、自分も他の人も大切に行動しています。	90.3	わが子は、場に応じた、相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている。	78.0	
安全教育の徹底	38 トラブルや怪我、事故については、管理職及び関係主任に報告・連絡・相談を速やかに行い、ケースに応じて組織的な対応を行っている。必要に応じて特別支援教育コーディネーターやSC、民生委員、関係機関への連携を図っている。	100					4.0
	39 出席状況の把握、生活アンケートや日常の観察などから不安を抱える児童を発見し、早期に組織的な対応をすることにより不登校の防止を図っている。	100	先生たちは、困ったときに助けてくれたり、励ましてくれたりします。	93.1	学校は、児童が困っているとき、助けてくれたり、励ましてくれたりしている。学校は、困ったときに相談しやすい。	90.0	
	40 安全部を中心とした安全指導（交通安全、避難訓練等）を計画的に行い、児童の安全意識を高めている。	100	安全に気を付けて生活しています。通学路指導や交通安全指導、避難訓練に、真剣に取り組んでいます。	95.7 93.0	わが子は、安全に気を付けて生活している。	88.0	
	41 安全点検の計画的に実施するとともに日常的な環境整備を行い、児童の事故防止や避難経路の確保、不審物に気付く環境づくりに取り組んでいる。	100			学校は、安全に配慮した環境づくりに取り組み、病気や怪我について、保護者と連絡し、対応している。	93.0	
学校開かれた	42 首より上の怪我については管理職、養護教諭に即報告し、保護者対応や緊急対応を行っている。	100					3.8
	43 危機管理マニュアルを理解し、アレルギー対応、心肺蘇生法研修会を通じて、緊急時の行動が取れるようにしている。	100					
	44 授業参観や行事を通じて、学校経営、教育活動を積極的に公開している。	100			学校は、授業参観や行事を通して、教育活動を積極的に公開している。	96.0	
開かれた	45 家庭・地域の教育力を活用（PTA、学校応援団・保護者ボランティア等）している。	100	協力してくれる地域や保護者の方に、感謝の気持ちを伝えていきます。地域の行事に、積極的に参加しています。	90.5 72.9	学校は、家庭・地域の教育力を活用し、連携している。	92.0	3.8
	46 保護者・地域への情報発信（学校HP・さくら連絡網の活用等）を積極的にしている。	96.0			学校は、学校だよりや学級通信、ホームページ等で、学級や児童の様子、担任の思いを保護者に伝えている。	91.0	